

第4章 重点事業の実績と評価

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	令和6年度 目標	令和2年度の取組・課題と対応策	進捗評価	質の向上
基 1-1 No.9	子育て支援センター・子育て世代包括支援センター	子育て推進課	家庭児童相談室、子育てセンター、ファミリー・サポート・センターや子育て世代包括支援センターが、子育て支援の拠点として他機関との連携によるネットワークでの総合的な子育て支援を行う。	子ども家庭総合支援室、子育てセンター、ファミリー・サポート・センター及び子育て世代包括支援センターにおける他機関との連携を強化	充実	新型コロナウイルス感染拡大防止により、子育てセンター事業においては、令和2年度当初は事業を中止し、その後徐々に開催時間・定員等を増やして実施した。対面での事業が出来ないフォローとして令和2年6月よりオンラインで事業を実施し、プログラムには子育て世代包括支援センターや健康課と共催するものも実施した。子ども家庭総合支援室では、学校・園の休校期間には、支援を行っている家庭の子どもに対して学校・園等に安全確認の調査を行った。	B	B
基 2-1 No.5	幼稚園教諭、保育士の人材育成と資質の向上	子育て推進課	幼稚園教諭、保育士、保育教諭等としての資質や指導力の向上のため、研修、実習等を通じた人材育成の充実を図る。	研修会への参加人数	450人	【こども園・保育所・子育て推進課実施分】 ・子育て推進課主催研修 8回 (市立及び私立職員、認可外職員延べ192人参加) ・こども園・保育所主催研修 4回 (市立職員、延べ70人参加) ・保育士等キャリアアップ研修 3回 (市内就学前施設職員、延べ99人参加) 実施状況：新型コロナウイルス感染防止の観点より、参加人数を限定して研修会を開催した。 課題：今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、研修会を開催し、質の向上、人材育成の充実を図りたい。	B	B
		学校教育課				芦屋市指定幼稚園教育研究会は中止、各園の研究会は、園内のみで行ったため、他の園の保育を見合う機会はなかった。研修会については、大学の先生の講話を映像で見て、その後、質疑応答をメールで行うなど、学びの機会をつくった。特別支援教育実践発表会については、参加人数を絞って開催し、具体的に配慮を要する幼児に対するの援助について学び合うことができた。今後も、感染拡大状況にに応じて、公開保育や講師の先生のリモート講話配信など、工夫して、指導力を向上し、人材育成の充実を図る。	B	B
基 2-1 No.6	教育・保育施設への巡回訪問及び保育の質の評価	子育て推進課	市職員が定期的に各施設を訪問し、保育内容や環境等について意見交換・助言等を行う。また、「芦屋市 保育の質の評価」のチェックシートを活用し、保育の質の向上を目指す。	各施設への年2、3回の定期的な巡回の実施	充実	【特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業所について】 ・22施設を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から訪問予定回数59回を29回とした。 ・新型コロナウイルス症への予防対策・年間指導計画・防災計画・給食の衛生・アレルギー対応についての現状と今後に向けてを確認し合った。 【芦屋市保育の自己評価の活用と評価】 ・市立・私立26施設が自己・施設としての保育の評価を行っていることを、令和2年10月にホームページで公開した。	B	B

## 第4章 重点事業の実績と評価

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	令和6年度 目標	令和2年度の取組・課題と対応策	進捗評価	質の向上
基 3-1 No.1	地域における子育て支援活動	市民参画・協働推進室	あしや市民活動センターや幼稚園、保育所、認定こども園等の公共施設を利用し、子育ての情報交換・団体間交流・ネットワーク化を図り、地域における子育て支援活動の充実を図る。	子どもの育成にも効果的な活動を行う市民活動団体への支援及びあしや市民活動センターにおける事業の実施	充実	<p>「あしや市民活動センター」は、市民活動を支える中間支援組織である。子どもの支援活動団体には活動の場、子どもには市民活動を楽しみ体験する場、そして各々をつなぐ場を以下の取り組みを通して提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9団体で構成されている「あしや子ども笑顔ネット」では、子どもを笑顔にする取り組みのひとつとして「芦屋認定」を令和元年度から始めた。現在22組が認定され、ホームページで紹介している。さらに認定者を認識していただくために、今年度から動画配信のための撮影を始めている。</li> <li>・「夏休み子どもわくわくスペシャル」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止としたが、2団体から工作づくりのレシピを提供いただき、ホームページで紹介した。</li> <li>・「芦屋発子ども新聞記者」セミナーでは、神戸新聞社の協力を得て講座を開催。市民活動センター主催のイベントや講座などで取材を実施、新聞づくりを行った。</li> <li>・あしや部（芦屋市在住高校生の交流の場）では、それぞれが取り組みたいテーマ別に、大人たちへのインタビューをフリーペーパー化し、発行。会議等はZoomを活用した。</li> <li>・ママと子どもの居場所「つきいちよるごはん」は、就学前の子とママの交流の場としての需要を見るためにプレ開催を行った。</li> </ul> <p>＜コロナ禍で中止となった事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芦屋さくらまつり清掃ボランティア実行委員会：大学生と高校生で構成され、チラシの作成も完成されていた。</li> <li>・トライやる・ウィーク：中学生の受け入れ</li> </ul>	B	A
		子育て推進課 学校教育課	幼稚園、保育所、認定こども園での子育て世帯への施設開放の実施	充実	<p>【こども園・保育所】 園庭開放実施回数：0回 実施状況：新型コロナウイルス感染防止の観点より、園庭開放の実施が出来なかった。 課題：新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、再開の時期を検討する。</p> <p>【幼稚園】 子育て支援では、感染状況に応じて、十分に予防対策を講じながら、3歳児親子ひろばは、親子で楽しめるプログラムを工夫し、市内6園で年間延べ124回1,305組の親子が利用した。また、園庭開放では、在園児が6園で延べ238回6,258人が、未就園児は延べ173回、1,346人が利用した。また、未就園児との交流会も28回322人が参加した。地域の子どもたちが園庭で安心して遊んだり、気軽に子育ての相談をしたりする場となった。また、親同士が仲良くなり子育ての情報交換ができる場となった。今後も、園庭開放等の、更なる充実を図っていく。</p>	B	B	

## 第4章 重点事業の実績と評価

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	令和6年度 目標	令和2年度の取組・課題と対応策	進捗評価	質の向上
		子育て推進課		地域での子育てセンター事業の実施	充実	コロナ禍により、子育てセンター事業においては、令和2年度当初は事業を中止し、その後徐々に開催時間定員等を増やして実施した。対面での事業が出来ないフォローとして令和2年5月より市Facebookで動画をアップし6月にはオンライン事業を開催した。プログラム内容については、子育て世代包括支援センターの保健師や保健センターの管理栄養士等と一緒に実施したものや、市内の高校生と手作りの電子紙芝居などを作成し動画にアップしオンライン事業の中でも紹介した。	B	B
基 3-2 No.4	交通安全の意識向上	建設総務課	子どもの交通安全を確保するため、「交通安全教室」や「出前講座」等の実施により、交通安全に対する意識向上を図る。	参加・体験・実践型の交通安全教育の推進	充実	交通安全教室の開催：28回（幼稚園9回、保育所13回、小学校6回） 新型コロナウイルスの影響により実施回数は半減したが、1箇所に年2回実施していたものを年1回だけでも実施する等を心がけ、交通安全に対する意識向上を図るよう努めた。	B	B
基 3-4 No.2	インクルーシブ教育・保育	子育て推進課  学校教育課	就学前施設において、配慮の必要な子どもに対して必要な支援体制を整備し、集団生活を行うことにより、当該子どもの健全な発達を促進する。	対象児童の個別支援計画の作成と内容の充実	充実	【市立・私立こども園・保育所等】 対象児童：44人 インクルーシブ教育保育研修会実施：2回 実施状況：対象児童の個別支援計画シートを各施設が年2回作成し、評価、助言を行った。 研修会については、新型コロナウイルス感染防止の観点より、年4回開催の予定が2回になった。研修会では、講師の指導、助言を受けながらグループワーク中心に子どもの姿を読み取ったり、支援の方法について検討を行った。 課題：今後も研修会を充実させていく。引き続き、対象児の個別支援計画シートの作成を行い、より良い支援につなげていく。  支援が必要な子どもについては、特別支援センター専門指導員による巡回指導による支援を行うとともに、必要に応じて医師等の専門職からの助言を受け、情報共有や保護者と連携を図りながら支援の方向性の確認を行い、個別の支援内容の充実を図った。今後も集団の中で生活することを通して発達を促しながら、地域の中で安心して生活できる土台づくりを目指していく。職員研修においては新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら講師を招いて、長期的な視点で個々の幼児の教育的支援が行えるように努めていく。	B  B	B  B